

ご覧になれます。

2018

1

No.520

- 1 **くがにくとぅば[黄金言葉] vol.166**  
**観光の多様化に適応する**  
有限会社 安栄観光 代表取締役 森田 安高
- 5 **地域リレーションシップ情報 157**  
**沖縄総合事務局経済産業部の最近の取組について  
働き方改革・生産性向上推進運動を開始します**
- 6 **中小機構 沖縄事務所の取組／中小企業へハンズオン支援  
守礼門プログラム2017 商談会・評価会開催**
- 8 **けいざい風水**
- 10 **おきぎんカトレアクラブ通信**
- 12 **県内景況・確報**  
2017年10月の県内景況
- 22 **国内景気動向**
- 24 **沖縄マーケティング情報**
  - ①沖縄県内の事業所数・従業者数・人口・世帯数
  - ②世界の中の沖縄(年次)
  - ③グラフでみる沖縄経済
  - ④数値でみる沖縄県・全国の経済動向(月次)
- 44 **経済社会のできごと(沖縄、国内・海外)**  
2017年11月
- 46 **各種セミナー等開催インフォメーション**



表紙写真/紅型



H29.12.7開催 九州・山口地方銀行調査担当部長 会議にて講話

# 観光の多様化に 適応する



有限会社 安栄観光

代表取締役 森田 安高

今回は、石垣島と八重山諸島の他の島との間で旅客船・フェリーを運航し、関連ツアーも 行っている有限会社 安栄観光の森田 安高 代表取締役にご登壇いただき、八重山観光の 現状や課題、展望等について講話していただいた内容を掲載いたします。

## 八重山観光入域客数の過去と現在

八重山観光入域客数は昭和47年の復帰当時は 4万人弱でした。平成13年からは「ちゅらさん」、「Dr.コトー診療所」、「瑠璃の島」と続けて 全国放送のドラマで放映されたおかげで離島 ブームが訪れ、本土からの直行便も増え、更に 外国からのクルーズ船が入港し始め平成19年 には78万人に増加しました。

その後リーマンショックや原油高騰・震災等 で観光が冷え込み、平成23年には66万人まで 落ち込みましたが、平成25年3月に南ぬ島石垣空 港（新石垣空港）の開港で100万人時代に突入 し、平成28年には124万人を達成し、平成29年 目標は131万人を掲げています。



## 路線別入域観光客数と島別入域観光客数

路線別の入域観光客数を見ると、国内路線の 空路が約8割、海外クルーズ船の海路が約2割

となっています。

東京、大阪、名古屋からの直行便による入域 観光客が順調に増加しており、また海外路線空 路のチャーター便による入域観光客が対前年度 (平成27年度) 比で約2倍になっている点も注 目です。海外クルーズ船による入域観光客も前 年度比で約3割増となっています。

島別入域観光客数を見ると、石垣市と与那国 町は対前年度比で増加しましたが、大小16の 島々からなる竹富町で減少したのが気になりま す。竹富町で増えているのは小浜島、波照間島、 嘉弥真島ですが、全体的に減少しました。

減少した要因として、旅行形態が団体ツアー から個人ツアーへ変わってきたことが影響して いると思います。今の個人ツアーのお客様はス マホ等で検索して、天候が悪ければ離島に渡ら ず石垣島を散策されたりしています。

各島々にはいろいろなカラーがあります。各 島々の色を磨いて、特色を明確にしていけない と、今後伸び悩みます。

区分	種別	平成27年		平成28年		対前年比	
		観光客数	構成比	観光客数	構成比		
国内路線	航空	223,018	43.3%	233,327	48.7%	104.6%	
	バス	115,537	22.4%	127,442	26.5%	110.3%	
	フェリー	0	0.0%	0	0.0%	-	
	クルーズ船	35,299	6.8%	37,859	7.8%	107.3%	
	合計	373,854	72.5%	408,638	83.0%	109.3%	
	海外路線	クルーズ船	500,739	96.9%	535,959	111.6%	106.9%
		航空	28,344	5.5%	30,324	6.2%	107.0%
		合計	529,083	102.4%	566,283	107.8%	103.3%
		合計	902,937	174.9%	974,921	200.3%	107.9%
	島名	観光客数	対前年比				
石垣島	1,229,749人	112.0%					
竹富島	264,815人	92.1%					
小浜島	190,264人	103.4%					
波照間島	35,921人	118.3%					
嘉弥真島	4,263人	70.2%					
地蔵島	2,924人	92.1%					
加藤島	2,679人	122.8%					
計	1,671,561人	92.9%					

## 八重山観光の魅力

八重山観光の魅力といえばご存知のように、「癒し」、「自然」、「異国情緒」等が挙げられます。



私自身も東京や沖縄本島に出張する機会が多いのですが、石垣島に戻れば、本当に時間の感覚が「ゆったり」と感じます。

竹富島は石垣島より船で10分位のところですが、港に降りた瞬間から、より「ゆったり」と時間が流れます。赤瓦屋などがみられる昔からの文化財の保存地域で鉄骨の建物がありません。この癒しを求めてリピーターが多いのも納得できます。

黒島は牧場がほとんどで3,000頭近くの牛がいますが、住民は220名位の島です。石垣島でも養牛を行っていますが、黒島も独自で養牛を行っており、ほとんどが子牛の時に松坂など様々な地域に買われて、それを飼育して松坂牛や神戸牛等になります。黒島は平坦で海風が強く、牧草にもミネラルが付いているということで、それが子牛時の栄養の基礎となっています。

西表島は国立公園が島の2/3を占め、平坦地に集落があります。西表島自体も沖縄本島に続いて大きな島ではありますが、住民は2,400名位で大きな川があつたり、潮流があつたりと、自然豊かな島です。現在、西表島は世界自然遺産の登録申請を行っています。

波照間島は日本最南端の有人の島で女性の一人旅が多い島であり、天候に左右されますが、船の就航率が上がれば観光客は伸びます。ニシ浜ビーチはトリップアドバイザーで1位の観光名所となっています。

与那国島は日本最西端の島ということで一時は過疎化で厳しい時期もありましたが、自衛隊の配備により民間の観光客も伸びてきていると

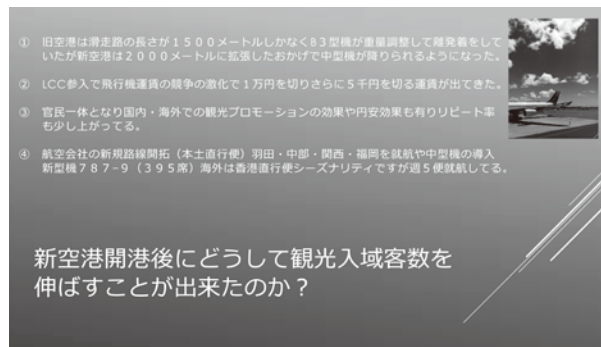
いう話を聞いています。

このように、特徴ある島々が八重山諸島というエリアで結ばれているのが八重山観光の魅力です。また、各島々、地域で執り行われる豊年祭や海神祭等も見どころです。

## 新空港開港後にどうして観光入域客数を伸ばすことが出来たのか

観光入域客数を伸ばすことが出来た第1の要因は滑走路の拡張です。

旧空港滑走路は1,500mでボーイング737等の小型ジェット旅客機がぎりぎり飛べる距離でした。また、重量制限もあって東京への直行便といえども一旦宮古で給油して飛び立つ必要があり、逆に東京から着陸するときは燃料を使い切っているためそのまま降りられるという条件付きの空港でした。過去に旅客機が一度だけ滑走路をオーバーランして炎上した事故があり、それから重量制限が厳しくなりました。なかなかお客様の誘導ができず、便数が増えても伸び悩んでいました。それから新空港に変わって、滑走路を2,000mに拡張したおかげで、ボーイング787等の中型機が着陸できるようになり、平成29年の夏からは、羽田－石垣便が夏場のピーク時に日に4便運行するようになりました。たかが500mの拡張ですが、拡張により旅客機の機材を大きくすることができ、多くの観光客を集客できていることに正直驚きを感じました。



第2の要因はLCCの参入です。

LCCの参入で旅客運賃の競争が激化し、那覇－石垣間が片道1万円を切り、更に5千円を切る運賃も出てきました。参入以前は安くても片道18,000円、ピークで26,000～27,000円位でした。運賃が安くなったことで、各県から普段高くて夏休みに訪れることができなかつた学生さ



んや、小グループのヤング層の方々も増え、町中で見かけるようになりました。料金の格差で入り込みが変わり、客層が変わったのを実感しています。

第3の要因は国内・海外での観光プロモーション効果や円安効果です。

官民と一体になった国内・海外の観光プロモーションを一生懸命やったという実感があり、功を奏してきています。また円安効果もあって、海外からのお客さまが伸びました。

現在では、航空会社様の新規路線開拓で本土直行便は羽田・中部・関西・福岡が就航し、海外では香港直行便がシーズンリティではありますが、週5便就航しています。

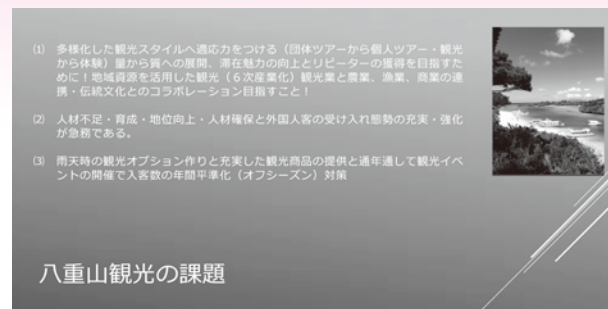
### 八重山観光の課題

観光のスタイルは団体ツアーから個人ツアーへ、観光型から体験型へと多様化しており、かつての量から質への展開を図り、その適応力を付けていかなければなりません。

例えば、地域の資源を活用した農業・漁業・商業と観光の連携や、豊年祭、海神祭など地域の伝統芸能・文化とコラボするツアー商品を開発することにより、滞在魅力の向上とリピーターの獲得を目指していくことが考えられます。

一方、八重山でも本土、本島と同じようにあらゆる業種で人手不足感がみられますが、特に観光業界では人材育成・地位向上・人材確保、また外国人客の受け入れ態勢の充実・強化が急務となっています。当社も11月の中旬より中国から1名、ロシアから2名を採用して外国語対応を行っています。これからは石垣島にも日本語学校をつくるなどして人材育成を急務で進めていかなければならないと感じているところです。

また、八重山観光は雨天時の観光オプションがほとんどなく、ダイビングやシュノーケリングなどの濡れてもいい商品はたくさんありますが、多少なりとも雨でも楽しめる様なオプションづくりを考えていかなければなりません。充実した観光商品の提供と通年通しての観光イベントの開催による観光入域客数の年間平準化が課題です。



### 八重山観光の展望

私は八重山観光が、日本最南端のアジアゲートウェイの国際観光拠点としての可能性を活かし、観光の質の向上により、ロングステイの誘客に繋がっていくことを展望します。

できればヨーロッパ辺りのお客様がロングステイして楽しんでいただき、沖縄の石垣島ではなく、プーケット島やバリ島のように「島」としての知名度が上がるようになって欲しいと思っています。そのためには、八重山諸島の各島々への周遊を促進して「石垣・竹富・与那国」で連携した八重山プロモーションを強化し、また宮古島との連携も大事になってくると思います。

現在、大型クルーズ船が発着できるバースが石垣港新港地区で整備中です。

新バースの完成は国際観光拠点としての機能向上となり、石垣市をはじめとする八重山地域の観光産業に大きく貢献することが期待できます。



石垣島 西表島 竹富島 小浜島 黒島 波照間島 新城島 鳩間島 由布島

50 エコツアーや  
離島観光コース等  
コース以上!

遊びにおいでよ~

体験プランや離島観光等、  
50コース以上!

# 日本最南端

## の 島めぐり

1名様より参加出来ます。

ホームページへ  
アクセス!  
特典情報  
満載です!!



竹富島マスコット  
キャラクター  
【ピカヤ〜】



日本最南端の碑



New  
ship

はいじま2 波照間島航路に就航

### 大人気の3島めぐりに西表島・由布島の観光後、竹富島で自由に散策できるコースです。

#### FC 西表島・由布島・竹富島フリータイム 3島めぐり

- 料金に含まれるもの / 往復船代、西表島バス観光代、昼食代、仲間川ボート代、由布島入園料(水牛車代含む)
- 所要時間 / 約7時間30分~9時間
- 大人 12,700円 小人 8,400円

竹富島でフリータイム中に  
右記料金にて竹富島観光プランを  
チョイスできます。  
※チョイスプランはご予約の際にお申  
みください。  
※出発後のプラン変更はできません。

- 1.水牛車観光コース 大人1,000円 小人600円
- 2.マイクロバス観光コース 大人1,000円 小人600円
- 3.グラスポートコース 大人1,000円 小人600円
- ※3つのプランをお好きな組合せでお申込みいただけます
- 4.サイクリングコース(貸出は17時まで) 900円
- ※4のプランは、1・2・3 プランとの組合せでの組合せはできません

### 竹富島での観光が選べるようになりました。

#### J 西表島・由布島・小浜島・竹富島 豪華4島めぐり

- 料金に含まれるもの / 往復船代、西表島・小浜島バス代、昼食代、仲間川ボート代、由布島入園料(水牛車代含む)、  
選択の竹富島観光代 ●所要時間 / 約8~9時間

竹富島1行程プラン  
大人15,800円 小人11,300円

- 竹富島 水牛車観光のみ
- 竹富島 マイクロバス観光のみ
- 竹富島 グラスポート観光のみ

竹富島2行程プラン  
大人16,800円 小人11,800円

- 竹富島 グラスポート+マイクロバス観光
- 竹富島 マイクロバス観光+水牛車観光
- 竹富島 グラスポート+水牛車観光

### II 波照間島・西表島・由布島 日本最南端の島と秘境西表島

- 料金に含まれるもの / 往復船代、バス観光代、昼食代、仲間川ボート代、由布島入園料(水牛車代含む)
- 所要時間 / 約9時間
- 大人 17,300円 小人 11,800円

※上記以外のコース多数あり。詳しくはホームページ、パンフレットをご覧頂くか、直接お問い合わせ下さい。  
※観光コース・定期船をご予約の方は、当社指定のホテル〜港までの無料送迎バスがご利用頂けます。  
※観光コースご利用のお客様は、無料で荷物をお預かりします。 ※観光コースは1名様より参加頂けます。

### 離島航路の乗船券のみも好評販売中!

離島ターミナル内、安栄観光の受付カウンターにてお求め下さい。

#### フリーパス乗船券

## アイランドホッピングパス

Island Hopping Pass

波照間航路付と無しの、2タイプをご用意しました。  
※離島間航路も、ご利用可能になりました。  
※ご利用の際は、石垣港離島ターミナル内安栄観光カウンターにてフリーパスを提示し乗船券をお受け取り頂くか、各港の弊社スタッフにフリーパスを提示の上、乗船券をお受け取り下さい。

- フリーパス3日券** 3日間、運航時刻表掲載便が乗り放題  
大人 5,800円 小人 2,900円  
波照間航路付... 大人10,000円 小人 5,000円
- フリーパス4日券** 4日間、運航時刻表掲載便が乗り放題  
大人 6,800円 小人 3,400円  
波照間航路付... 大人11,000円 小人 5,500円
- フリーパス5日券** 5日間、運航時刻表掲載便が乗り放題  
大人 7,800円 小人 3,900円  
波照間航路付... 大人12,000円 小人 6,000円

※燃料油価格等の影響または、運送機関・料金の改定によりコース料金、及び定期船料金が変更になる場合があります。



▲あんえい12号(リニアフリー対応)  
旅客定員/89名



▲はいじま(リニアフリー対応)  
旅客定員/181名



▲カーフェリーはしかじ(リニアフリー対応)  
旅客定員/47名 車/6台

#### 所有船舶数

高速旅客船/13隻  
旅客カーフェリー/2隻



▲ホームページへ  
簡単アクセス



ツアーの予約と乗船券の購入は → ☎0980-83-0055 FAX.0980-83-0044  
旅客カーフェリー(貨物事務所) → ☎0980-83-5891 FAX.0980-83-5891  
〒907-0012 沖縄県石垣市美崎町1番地 石垣港離島ターミナル内

http://www.aneikankou.co.jp



## 読谷、元気な村づくり

### スポーツ観光定着

読谷村では軍用地跡地利用として「読谷村大湾東土地区画整理事業」が行われています。国道58号東側の大湾東地区において住宅地、商業地としての開発が進められ、コンビニエンスストアや飲食店などのほか、今夏には大型商業施設もオープン予定です。

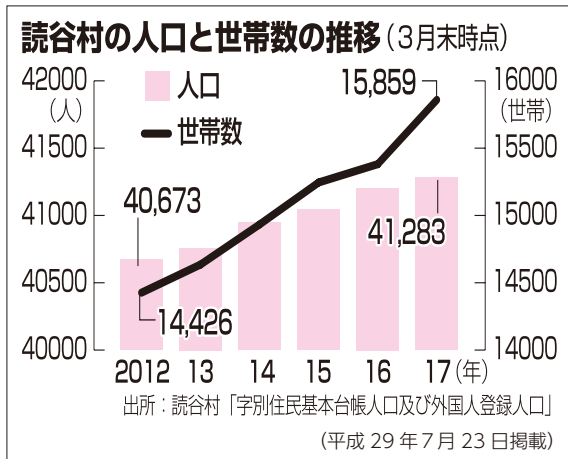
また同村南東に位置する大木地区でも区画整理事業が本格化し、両地区の人口は合計で3,600人余りと見込まれます。併せて国道58号のバイパス事業も着々と進められ、周辺道路の整備も始まっています。

観光面でも力を入れており、村民センター地区ではパークゴルフ場の整備、西海岸地区での大型ホテルの建設が計画されるなど雇用創出の面からも期待が持てます。

スポーツコンベンション誘致促進事業として、プロ野球チームのキャンプ誘致に始まり、サッカーJリーグ、全日本女子ソフトボール、パラリンピック陸上男女短距離、ラグビー実業団などの合宿が行われ、今年2月には沖縄初となる女子7人制ラグビーの国際大会も開催されるなど、スポーツ観光による村おこしも定着化してきています。

読谷村は2014年に「日本一人口が多い村」となりました。それ以降も人口は年々増加しており、2017年3月末現在で人口が4万1,283人となっています。今後も多くの事業、取り組みにより自然と文化、伝統芸能などとの融合を図りながら、さらなる人口増、雇用の拡大、観光スタイルの確立により「日本一元気な村」へ成長することが期待されます。

(沖縄銀行 読谷支店長 前田 晋)



## 中城村の人口ビジョン

### 一極集中の是正に注視

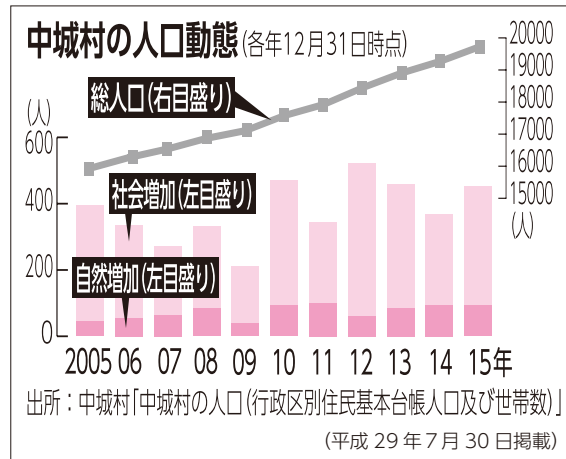
中城村の人口は、2017年6月30日現在で2万542人となっており、国勢調査によると05年～10年の人口増減率はプラス11.9%で全国10位と、成長著しい村です。

特に南上原地区の人口は過去10年間で年9%のペースで増加しており、17年6月現在では7426人と、村人口の約36%を占めるなど、村の人口増加に大きく影響しています。また、地域の自然環境と調和する生活環境を有する良好な市街地整備を目指して、安全で快適な歩道分離の道路整備や、公園整備などの基盤形成を図っています。

一方で、人口が増え続けているのは南上原地区に限られ、同地区以外の字人口は微増あるいは微減を繰り返しており、一極集中の傾向にあります。中城村全体で見ると、まだ市街化調整区域が多く、南上原地区のような都市計画区域の指定などにより、生活環境が充実した地域を拡大させていく必要があります。

また、中城村は総合戦略の基本目標として「住みたい、住める」「産みたい、育てたい」「住み続けたい」「働きたい、訪れたい」まちづくりを掲げており、事業の一環として、サッカーJリーグチームのキャンプ誘致や、イベント開催を進めています。16年度は、世界遺産である中城城跡で野外コンサート、プロジェクションマッピング、横綱白鵬の土俵入りなど多くのイベントを手掛けており、村のさらなる発展を目指しています。今後も人口増加に向けた中城村の取組み、動向を注視していきたいと思えます。

(沖縄銀行 なかぐすく支店長 友寄 隆之)



## 沖縄市立図書館改装 生涯学習の場に期待

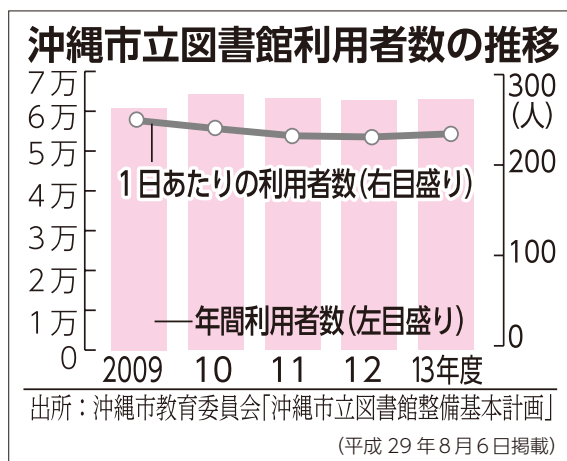
2017年5月3日、沖縄市立図書館がコリンザへリニューアル移転しました。沖縄市立図書館は、1954年にコザ市琉米親善センター図書室としてスタート。その後、84年に沖縄市上地の沖縄市文化センターへ移転しました。開館からこれまで市民の生涯学習の場としての役割を担ってきましたが(1)施設が狭隘(きょうあい)であること(2)駐車場が不足していること—などから利用者数は横ばいとなっていました。

沖縄市は2001年に沖縄市図書館づくり基本構想及び基本計画書を策定。08年には沖縄市図書館づくり懇話会を設置し、10年に沖縄市立図書館基本構想を策定して市立図書館の移転を計画していました。そして沖縄市が14年に取得、改修した複合商業施設コリンザ1階部分へ移転する運びとなりました。

新図書館への移転により延床面積が1,619平方メートルから5,041平方メートルに拡大したことで、蔵書も増え、ゆったりとした読書スペースも確保されています。施設内にはグループ学習室・読書サポート室・まなびの部屋といった自主的学習スペースを設置されており、ワンフロアの図書館としては九州最大規模の広さを有しています。また駐車場も27台から242台へ拡大されたほか、開館時間もこれまでより1時間30分延長されたことで、利便性も向上しています。

沖縄市立図書館は移転リニューアルを機に「誰でも、どこでも、いつでも、何でも」の理念の下、市民の生涯学習の場として、ますます期待されています。

(沖縄銀行ローンFPステーション  
美里店店長 宮里 聡)



## iDeCo加入者増加 老後の所得保障に

法律の改正により2017年1月から、個人型確定拠出年金 iDeCo (イデコ) の加入範囲が拡大されました。これまでの加入対象者(企業年金のない会社員・自営業者など)に加え、企業年金加入者・公務員共済等加入者・私学共済加入者・国民年金の第3号被保険者(専業主婦等)も含め、基本的に60歳未満の全ての方が利用できるようになりました。

月別新規加入者の推移を見ると、法改正以降の17年1月から増加し、5月までの加入者総数は51万7,093人と、50万人を超えています。新規加入者の年齢層は、30~40歳代が増加しているようです。

iDeCoは加入者自らが定めた掛け金額を拠出し運用商品を選択するもので、給付額は、原則60歳以降に掛け金とその運用益の合計額を基に決定され、給付を受ける制度です。特徴として三つの税制優遇があり、(1)掛け金が全額所得控除(2)運用益が非課税で再投資される(3)受取時も税制優遇措置がある—ことです。

転職した場合の積み立て資産の持ち運び(ポータビリティ)も拡充され、使いやすい仕組みとなりました。留意点としては(1)運用商品は加入者自身が選択し、受け取る額は運用成績により変動する(2)中途での引き出しに制限がある(3)口座管理手数料などがかかる—ことなどがあります。

公的年金に加え、老後の所得保障の選択肢として検討してみたいはいかがでしょうか。

(沖縄銀行 東京支店長 内間 徹)

